

1 日 時

令和3年6月14日（月）14:30～16:15

2 場 所

沼津市役所 水道部庁舎3階会議室

3 出席者

飛田 直和 （金岡小学校 校長） 鈴木 しおみ （第四小学校 教諭）
蓮池 千春 （金岡小学校 教諭） 角田 善恵 （愛鷹小学校 教諭）
相原 恵 （大平幼稚園 主任教諭） 岩本 美穂 （光長寺幼稚園 教務主任）
眞野 裕輝 （原町幼稚園 学年主任） 渡邊 仁美 （金岡保育所 副所長）
田中 美佐枝 （永明保育園主任保育士）
杉浦 敬子 （幼保連携型認定こども園杉浦学園 副園長）
後藤 信俊 （幼保連携型認定こども園こずわ幼稚園 園長）
教育企画課、子育て支援課、学校教育課（事務局）
※欠席 小川 達美 （小百合保育園 主任保育士）

4 協議内容

幼保小の円滑な接続について

（事務局より）

- ・幼保小接続期カリキュラムの策定に向け、沼津市としてどんなことに重点を置いて保育・教育をしていけばよいか
- ・沼津市版幼保小接続期カリキュラムに、どのような内容を盛り込んでいくとよいか

（主な意見）

沼津市として保育・教育に重点を置くことについて

- （幼保）地域の小中学校の一貫目標に「たくましくなる」という言葉があり、それを念頭に置いていろいろな体験ができるように取り組んでいる。
- （幼保）園での取組では、10の姿の「自然との関わり・生命尊重」「思考力の芽生え」「社会生活との関わり」が身に付いているのではないかと感じている。
- （幼保）「社会生活との関わり」が薄れてきていて、家族内だけでなく他の人たちとのコミュニケーションをとれるような場も用意していく必要がある。
- （幼保）いかに子供たちにやる気を出させるような環境を整えられるか、言葉掛けができるかなど、保育や教育の技術を身に付けることが必要であり、小学校の先生と共有するような研修会も必要ではないかと思っている。
- （幼保）沼津市教育大綱や沼津市教育基本構想の目的にある「貴き志」を子供に感じさせることが必要である。周りの大人に囲まれて幸せに過ごせるという安心感や肯定感、自己肯定感をしっかり幼少時期や小学校時期に子供に持たせておかないと「貴き志」は持てないと思う。

- (幼保) 自分の好きな遊びを見つけて、集中して遊ぶこと、遊びをさらに発展させて遊び込めることなどの体験が、小学校につながると思う。
- (小) 幼稚園、保育園から小学校の接続期に大切にしなければならないのは、他の子と差があってもその子なりのがんばりを認めてあげる、声を掛け続けてあげることであり、自己肯定感を高めることにつながる。
- (小) 小学校のスタートの一番大事な時に、いかに学校が楽しいと思わせ、安心して過ごせる環境を作ってあげることが大切だと思う。
- (小) 集団から遅れて泣いていたり困っていたりする子に、自立心や協同性をどのように染みこませていくことができるかが大切だと感じている。

各園や各校での保護者との連携について

- (幼保) クラスに1つずつ SNS があり、保護者向けに写真とコメントを配信している。
- (幼保) 昼の活動の見える化を目的に、コメントを入れた写真を掲示して保護者に見ていただいている。
- (幼保) 毎日、園での活動や一人一人の一番いい表情の写真を掲示して、楽しく園で生活していることを保護者に伝えている。
- (幼保) 12月に実施する保護者の園評価に「お子さんを一日一回は褒めていますか」の項目を入れ、日々意識してもらうため、4月に園評価の内容を保護者に伝えるようにしている。
- (幼保) 単純なことだが、挨拶など当たり前のことでも、「上手に挨拶できたね」など、保護者の前で褒めることを実践している。
- (小) 音読カードに良い表れを書いて伝えたり、良い表れを記録しておき、教育相談で伝えたりしているが、保護者と連絡を密にとることは難しいと感じている。

沼津市版幼保小接続期カリキュラムの策定について

- (幼保) 沼津市版のカリキュラムをベースに、自分たちの地域の幼保小で策定していくということであればよいと思う。また、各地域の特色を入れ込んでいくことができるとよい。
- (幼保) カリキュラムに対して、私たち指導者がどう子供に対応していくのかが大事になるのではないかと感じた。自己肯定感を育てるために、カリキュラムを頑張っている子供たちへどんな声掛けをし、どんな支援をするのかが大事だと思う。
- (小) 沼津市版として策定するのであれば、小学校は国語や算数など変わらないものは共通で示し、生活科や地域性のあるものだけを各校で変えるような形にしたらどうか。策定して終わらずにどのように行動に移していくか、どう家庭に伝えていくかが大事だと思う。
- (幼保) 幼保には「最終的にここまでできていればよい」というようなことを示し、それぞれ園の教育や保育で力を付けていくことでよいと思う。
- (幼保) 「沼津市として共通して取り組もう」ということを示したらどうか。何を心掛けてこれから子供に接していくのかというものを一つの形として作り上げて、みんなでそこに向かっていくということではどうか。
- (幼保) 沼津市全体の幼保小で目標を決めて、子供の交流や教員の連携等、具体的な活動をお互いに認識し合い、園や小学校で努力していることを共有していくことが大事ではないか。